



# すてい~る

## 目次

### ●特集 平成20年「賀詞交換会」

●平成20年「賀詞交換会」開催	1
●支部賀詞交換会	6
●突然おじゃま 久木田一成 櫻井鋼鐵(株) 会長	8
●私の愉しみ 粟井 齋 粟井鋼商事(株) 代表取締役社長	9
●委員会報告	10
●事務局だより・編集後記	裏表紙



社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号 (鉄鋼会館)

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>

E-mail [zentoku3@ba2.so-net.ne.jp](mailto:zentoku3@ba2.so-net.ne.jp)

# (社)全日本特殊鋼流通協会 平成20年『賀詞交換会』開催



## 堅調な動向を反映して約520名が参加 活気にあふれ新年の門出を祝う

全特協では、1月28日(月)に東京・市ヶ谷の「グランドヒル市ヶ谷・瑠璃の間」において、平成20年の賀詞交換会を開催しました。

冒頭で三上会長は、昨今の景況見通しや原料価格の高騰などに触れ、今年の特鋼流通業界が取り組むべき課題を踏まえてあいさつ。今期よりスタートしている、第3次中期計画に関する人材育成事業や内外交流事業の報告や抱負が述べられました。

その中で注目されたのが、本年4月1日の「はがねの日」に向けた記念切手の図案発表です。協会オリジナルデザインの切手を、会員の皆様に広くご利用いただくことで、「はがねの日」、および特鋼流通業界の普及啓発につながる事業となっています。また、売上金の一部は寄付にあてられる予定です。

引き続き、ご来賓を代表して経済産業省製造産業局鉄鋼課長・石川正樹様よ

りご祝辞を頂戴し、(社)特殊鋼倶楽部副会長・俣野一彦様のご発声で乾杯。会員企業、および関連団体等よりお集まりいただいた参加者は約520名。歓談の輪も大きく非常ににぎやかな、新年の門出にふさわしい活気あふれる賀詞交換会となりました。



# 全特協会長 年頭のあいさつ

(社)全日本特殊鋼流通協会 会長 三上聰彦



## 「着眼大局、着手小局」 動向を見極め、足元の難問を乗り越えよう

皆様、新年明けましておめでとうございます。

会員、賛助会員の皆様、またご来賓として公務大変お忙しい中、経済産業省鉄鋼課石川課長はじめ鉄鋼課の皆様、社団法人特殊鋼倶楽部俣野副会長、全国ステンレス流通協会連合会井上会長はじめ業界団体の皆様、報道関係の皆様と、多数のご臨席を賜り大変にぎやかに、平成20年賀詞交換会を開催できますこと、厚く御礼申し上げます。

昨年は、年央より米国サブプライムの破綻問題から、世界的な金融市場の混乱が、また原油価格の高騰や国内では建築基準法の改正による影響等、景気マインドに水をさす状況での越年となり、今年に入ってもその厳しさを増しております。

幸い、特殊鋼業界では自動車・建設機械・産業機械関連等の旺盛な需要に支えられ、特殊鋼熱間圧延鋼材生産高では6年連続で生産記録を更新し、暦年で2148万3000トンとなりました。メーカー各社は、量の増大により売上高を伸ばされましたが、原料の高騰により多くのメーカーで減益を余儀なくされております。一方、私たち流通にとりましては、需要先、地域、取り扱い鋼種等、それぞれの取引環境により収益に対する温度差が顕著に見受けられる年となりました。

本年は、特殊鋼の需要動向は多少の濃淡があるものの、引き続き高水準で推移するものと思われまます。しかしながら、引き続き鉄鋼原料価格の高騰から鋼材の大幅な値上げ、一部鋼種のタイト感もあり、われわれ流通といたしましては、いかに価格改定をお客様に理解いただくかに腐心する1年となりそうです。「着眼大局、着手小局」。世界の中の日本、鉄鋼の中の特殊鋼、と動向を見極めて、各社が機能を活かして足元の難問を乗り越えねばなりません。



当協会では、今期は第3次中期計画がスタートいたしました。人材育成事業では、この3月末で30年間を経過した特殊鋼販売技士・特殊鋼販売加工技士の有資格者数が、併せて延べ1万5000名に上りました。昨年11月5日、大阪支部の賛助会員との交流会で井上初代会長・現顧問が「研修制度こそ特殊鋼業界の文化であり、この制度がある限り業界は繁栄するものと確信している」と述べられておられます。人材育成委員会では、これまでの実績を踏まえ更なる充実を図るため、研修の内容やあり方等について現状分析アンケート調査を行い、将来の人材育成事業に生かしていく計画です。また内外交流事業では、昨年11月に38名の参加を得てベトナム視察研修を行いました。月末には、その報告書を皆様のお手元にお送りする予定であります。

更に普及啓発事業として、広報委員会では青年部会の協力を得て4月1日の「はがねの日」に向けた協会の記念切手を作成し、協会の存在を対外的に広めるきっかけ作りの運動を進めております。会員の皆様にお買い求めいただくとともに、その一部を赤十字等の団体に寄付する予定であります。

全特協では今後とも積極的に事業を進めて参る所存でございます。どうか本年も引き続き当協会にご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、各社のご隆盛とご参会の皆様方のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。



# (社)全日本特殊鋼流通協会 賀詞交換会

平成20年1月28日(月) グランドヒル市ヶ谷

## ご来賓祝辞

経済産業省製造産業局 鉄鋼課長 石川正樹 様



従って、石油価格が問題というよりは、価格上昇で産油国に行ったお金をいかにして取り戻すか、ということではないかと考えています。日本はなんといっても「ものづくり」と、それをサポートする方々のお力でお金を取り戻していただきたい。今年も、日本の経済を支える上で特殊鋼を中心とした製造業の方々のお力に、ぜひ強く期待したいと考えております。

全特協におかれましては、特殊鋼販売技士等の資格を通じて業界のレベルアップを図るという、人材育成に大変なご尽力をいただいております。私どもも、特殊鋼業界の発展のために、できる限りご協力をしてまいりたいと考えておりますので、引き続き皆様方とも連携させていただきたいと考えております。

### 原料高・資源高だからこそ ものづくりの日本にチャンスあり

特殊鋼は、鉄鋼のなかでも技術水準が高く、自動車をはじめ日本の競争力ある製品の一番重要な分野で使われています。今日お集まりの皆様は、その特殊鋼をユーザーのもとに確実に届けるという、日本経済のため果たす役割が非常に大きいお仕事をされています。

今年は、年初から株安・円高・原油高と、懸念されるニュースも多いのですが、必ずしもマイナス要因ばかりではないのではないかと思います。原油高は日本だけではなく、世界中で石油の価格が上がっている。当然、途上国でも燃費のいい車を選んでみようかと考えるはず。また、石油・鉄・ニッケルなど資源の価格が上がれば、全世界で新しい鉱山や油田の開発が始まります。そうすると、建機・産機、バス・トラックなどの需要が、どんどん出てくるはず。こうなれば、高品質・高耐久というメイド・イン・ジャパンが求められるようになり、石油や資源の価格が上昇する中で、日本の優れた製品、まさに特殊鋼が使用されている製品の需要が高まってくるという可能性があるのではないのでしょうか。



# 乾杯あいさつ

(社)特殊鋼倶楽部 副会長 俣野一彦 様



## 製販の連携を強化し 業界すべてが繁栄する市場づくりを

今はまさに、特殊鋼を含めた鉄鋼が、新たな成長時代のど真ん中にあると申しても過言ではないのではないのでしょうか。世界の粗鋼生産が、今年はおそらく15億トン前

後にもなるだろうといわれております。7億トン強で頭打ちだった10年前と比べて、まさに隔世の感です。

この業界の、主要なユーザーさんも堅調を持続されております。世界に組み立て工場を続々と建設されており、特殊鋼需要も高まっています。6年連続で史上最高の特殊鋼生産と紹介されましたが、おそらく今年も7年連続で史上最高を記録するのではないかという感触があります。

こうした中でわれわれ特殊鋼メーカーは、この数年、生産能力の上限いっぱいまで走り続けております。24時間マラソンではございませんが、くたびれている暇もなく、産業の米である特殊鋼を、安定供給するという重大な責任を果たすべく、供給能力の拡大と管理の徹底をしっかりとやっていかねばなりません。全特協の皆様におかれましては、われわれと連携

を強化していただいて、ユーザーとの橋渡しをしっかりとやっていただければとお願い申し上げます。業界に関連する誰もが皆繁栄する、そういう健全な市場を作りたいというのは、私の夢のみならず皆様方も同じだろうと思います。幸いにして、日本の特殊鋼業界には皆さんが「ハッピー」になれる組織がございますし、またそういう環境にあると確信しております。



# 中締めあいさつ

(社)全日本特殊鋼流通協会 東京支部長 竹内誠二



などもろもろが好調ということで、史上最高生産高の連続更新の期待がもてます。

ただ、新年になって皆さんがいわゆることで共通するのは、「何ごとにも非常に流れが速い、スピード感がある」ということです。ドッグイヤーとでもいうのでしょうか。この変化の激しい中、おそらくいろいろなことがあるかと思っています。ピンチもあると思います。しかし、ぜひピンチもチャンスととらえまして、今年はずべてプラス思考で、難局を皆さんとともに乗り切っていきたいと思っています。



## 変化のめまぐるしい時代を プラス思考で乗り切っていこう

今年は、原油高・株安・円高と波乱含みのスタートです。景気的には懸念される面もございますが、今年の特鋼業界は昨年引き続き、自動車・産業機械・建機



# 各支部でも賀詞交換会

## 東京支部

開催日時：平成20年1月28日(月) 18:00～  
開催場所：グランドヒル市ヶ谷 瑠璃の間  
出席者：520名  
内容：(社)全日本特殊鋼流通協会との合同開催

## 大阪支部

開催日時：平成20年1月7日(月) 11:30～  
開催場所：リーガロイヤルホテル 光琳の間  
出席者：803名  
内容：大阪特殊鋼三団体合同新年賀詞交換会  
(社)特殊鋼倶楽部大阪支部がホスト役となつて、司会を藪木運営委員長(山陽特殊製鋼(株) 常務取締役大阪支店長)がつとめ、澤近支部長(大同特殊鋼(株) 取締役大阪支店長)が三団体を代表してあいさつに立ち、「特殊鋼の生産は国内・輸出合計は過去最高の2144万トンとなり、3年連続の2000万トン超。世界経済の見通しについて、米国経済は、サブプライムローン問題による個人消費の冷え込み。これを中国・インドの成長が補うとの見方にも注視する必要がある」と述べ、「日本経済の実質経済成長率は2%前後の予測、懸念材料は、円高(ドル安)、改正建築基準法、原油高。特殊鋼業界は、自動車・産業機械などの需要は旺盛で高水準を維持。特殊鋼業界が今日あるのは、高水準の特殊鋼を安定供給する体制確保、人材育成、環境対策に製・販一体となって取り組んできたから。昨今利益優先するあまり、企業倫理を逸脱した例を他山の石ととらえ…」と語られました。来賓のあいさつとして、はじめに近畿経済産業局産業部長 赤井誠次様が、続いて大阪府から商工労働部商工振興室商業支援課参事 牧本衛様が太田府知事の祝辞を代読。樋口支部長が乾杯の音頭をとり、全員で元気に乾杯をし新年賀詞交換パーティーに移りました。



▲赤井様あいさつ



▲牧本様祝辞代読



▲樋口支部長が乾杯の音頭



## 名古屋支部

開催日時：平成20年1月9日(水) 18:00～  
開催場所：名古屋観光ホテル  
出席者：450名  
内容：名古屋地区特殊鋼三団体共催の新年賀詞交換会  
今年は全日本特殊鋼流通協会名古屋支部が担当ということもあり、田島支部長が主催者を代表してあいさつをした後、中部経済産業局課長補佐 加藤様より来賓を代表してあいさつをいただいた。特殊鋼倶楽部の久保支部長(愛知製鋼(株) 常務取締役)の乾杯の音頭で和やかなうちにあちらこちらで賀詞の交換が始まりました。  
昨年の当地区の好況を反映してか、今年は例年を10%以上上回る参加者で会場は熱気の中にも明るい笑顔があふれていました。  
最後は名古屋ステンレス流通協会の北野理事長(中部ステンレス(株) 社長)の中締めで、盛大のうちに幕を閉じました。



▲田島支部長あいさつ



▲加藤様あいさつ



▲特殊鋼倶楽部 久保支部長による乾杯



▲名古屋ステンレス流通協会 北野理事長が中締め

## 東北支部

開催日時：平成20年1月17日(木) 16:00～

開催場所：仙台国際ホテル

出席者：70名

内容：吉成支部長、三上会長のあいさつに続き、来賓の大同特殊鋼(株)工具鋼部長 佐野弘幸様の乾杯の音頭で交歓パーティーへと移りました。

この日は肌をさす寒さであったにもかかわらず、過去最高の参加者となり、大いににぎやかな賀詞交歓会となりました。



▲吉成支部長あいさつ



▲三上会長あいさつ



▲佐野様による乾杯の音頭

[写真提供：(株)特殊鋼産業新聞社]

## 北関東支部

開催日時：平成20年2月17日(日) 14:00～

開催場所：伊香保温泉・ホテル松本楼

出席者：24名

内容：主催者を代表して鈴木支部長があいさつの後、「探偵稼業から見えてくる表と裏、陰と陽」と題して、現役バリバリの探偵社代表：駒木憲一氏に現代の生活における憂い、根底にある問題は何か?について講演いただきました。

また大同特殊鋼(株)佐野室長様・日立金属(株)山本課長様・愛知製鋼(株)深津室長様より、各社の平成20年度市況見通しをご報告いただきました。



▲鈴木支部長あいさつ



▲駒木氏による講演



▲謝辞を述べる長谷川社長  
(株)長谷川ハガネ



▲山本様・深津様・佐野様より  
市況見通しが報告される



## 静岡支部

開催日時：平成20年1月24日(木) 18:00～

開催場所：静岡グランドホテル中島屋

出席者：27名

内容：永澤副支部長の司会進行で開宴、原支部長のあいさつに続き、来賓を代表して日立金属中部東海支店営業副部長 妹尾信夫様から「オリンピックキヤー、米国大統領選挙などもあり、好景気を期待したい」とあいさつをいただきました。

続いて、初出席の三上会長の音頭で乾杯。和やかな雰囲気の中、山浦理事の中締めで散会しました。



▲▶原支部長あいさつ



▲妹尾信夫様あいさつ

[写真提供：(株)特殊鋼産業新聞社]

## 九州支部

開催日時：平成20年1月8日(火) 17:30～

開催場所：博多全日空ホテル 万葉の間

出席者：221名

内容：九州ステンレス流通協会との共催 色川支部長のあいさつ、山陽特殊製鋼(株)広島支店長 辻田博史様の乾杯で始まり、会の終わりに抽選会を行い今年の運を試し、盛会の内に終わりました。



▲色川支部長あいさつ



▲辻田様による乾杯

# 突然おじゃま



## 櫻井鋼鐵(株) 会長／久木田一成

創業昭和22年。兵庫県西宮市鳴尾浜に本社を構える櫻井鋼鐵(株)は、構造用鋼・工具鋼を中心に扱う特殊鋼流通商社。取り扱い品目は、定尺・切断品が約3割、加工品・電子材料・マグネットなどが約7割と、同業一般に比べて加工品の割合が高いそうだ。1982年より、2代目社長として同社を引っばってきた久木田一成氏。全特協でも、約10年間にわたり要職を歴任されてきた。昨年2月には、ご長男に社長職を譲られ現職に。業界のこと、社業のことなどをうかがった。

## 日本の特殊鋼、会社のこと。そして全特協のことなどを。

### ■長年におよぶ、全特協とのかかわりを振り返って

全特協の法人化以来、大阪支部長を皮切りに4期8年におよぶ副会長職と、約10年間に渡って協会の要職を務めてこられた久木田一成氏。

「この2年は調査研究委員会の委員長として、各種アンケートに目を通す機会が多かった。景況感など、会員の意見に広く触れられたことは貴重だった」と振り返る。

もっとも、回答率の伸び悩みや自由意見をどう集計して今後の協会運営に生かしていくか。試行錯誤の連続でもあったという。

「職務の終わりがけになって気づくのも不明の至りなのですが、一度、専門家にアドバイスしてもらって調査の方法を変えてみるというかも知れません」。

リアルタイムに全国の会員の声を反映する、調査研究事業の有用性は疑いがない。有意義な回答を効率よく引き出すよう、工夫してみる必要があるのではと、思いを新たにしたいという。

### ■難局はあれど、当分強い足取りで世界に望む特殊鋼業界

景況アンケートを見るにつけ、ここ数年の特殊鋼業界は空前の好況でることは間違いない。

「ただし、熱間がいいが冷間は悪い。産機・建機関連は好調だが金型は厳しいなど、鋼種や取り扱い品目によりバラツキがあるのは否めない」。ただ、

中長期的にみても日本の特殊鋼は、非常にしっかりした業界なのではないか、と感じるといふ。

「当分の間は、海外には真似のできない高い専門技術を持っていますから。メーカーとユーザーを橋渡しする中で、国内の業者間でさえも真似のできない独自のノウハウを蓄積しているのがわたしたちです」。たしかに、原料高騰や品薄により、需要に供給が追いつかないなどの問題はある。

「今後、売上や利益の飛躍は難しくても、技術競争力ということでは、当面、自信をもって世界に望める業界です。材料と製法さえ分かれば、同じものが作れるというわけじゃないですから」。

およそ、大言壮語をおっしゃることのない久木田氏から、たっぷりの業界経験と踏まえられたこの言葉。実に勇気づけられるではないか。

### ■誠実と信用を第一に、真摯な企業として歩んだ60年

「業界の未来を展望するとともに歴史を振り返ると、初代社長の世代は、おもしろい商売を見つけたなと思います」。メーカーとユーザーの間に立って、在庫や供給の調整を担ったり、素材の改質や加工品を販売したり、キメの細かい多様なビジネスモデルと言える。

櫻井鋼鐵は1947年の創業。当初から、素材を取り扱うだけでなく加工品を販売。鍛造品や完成品を、メーカーと共同開発するというモデルも早くから着

手した。農業機械や紡績機の関連で、昭和30年代から北陸地方に地盤を持つのも特徴。自動車用のネオジウムマグネットや蒸着用ターゲットメタル、チタン、高合金など、時代のニーズに即した新素材への取り組みも積極的で、豊富な製品ラインナップを誇る。

「加工品の営業は面白いんですね。絶え間なく、勉強しなきゃいけませんから」。日本の特殊鋼技術が、他国の追随を許さぬ訳がこの言葉にある。

久木田氏が2代目社長に就任したのが82年のこと。すでに、専務時代の60年代後半から、在庫管理などにコンピューターの導入を積極的に図ってきたのも思い出深いという。

「昭和46年から、8期40年連続で優良法人の認定を受けている。これは、先代のころからの当社の自慢です。堅実でうそのない経営が評価され続けているということ。誠実と信用を第一に、というのが先代の教えでしたが、さらに真摯な企業であり続けている。わたしはそう思っているんですよ」。



西宮市鳴尾浜の櫻井鋼鐵本社

# 私の愉しみ

粟井鋼商事(株)代表取締役社長／粟井 齋



## 「国技を守る、誉れも高き陣羽織」 3代にわたる東西会のメンバーとして

### ■3月春の大阪場所を盛り上げるコアな相撲ファン

浪速の街に春を告げる風物詩といえば、奈良東大寺のお水取り、そして大相撲の3月大阪場所である。

その大阪場所でひときわ目を引くのが、土俵の東側・西側最前列の溜り席(砂かぶり)に陣取る、茶色の陣羽織姿。大阪場所名物ともいえるこの好角家たちは、一般観戦者とともに相撲を盛り上げ、昨年で70周年を迎えた「東西会」の面々だ。

「創業社長である故・岩吉から数えて、継承3代目のメンバーになります」と語るのが、粟井齋社長。

東西会は、1925年(財)大日本大相撲協会が誕生したころに、大阪の相撲愛好家たちが「十日会」という溜り会を結成。相撲興行の支援団体として活動していたことに由来する。

転機となったのは、32年の「春秋園事件」という力士たちのストライキ運動。待遇改善を求める一部力士たちが協会を脱退。「新興力士団」を結成して大阪を中心に興行を行った。

この、各界未曾有の難局を解決すべく奔走したのが当時の十日会で、脱退力士へ部屋に帰るよう説得し、相撲界の正常化に努めた。さらに、大阪国技館設立の資金援助なども感謝され、37年に大日本相撲協会東西会という名称を贈られた。

以降、(財)日本相撲協会の維持委員会として、協会事業に協力し、相撲道を通じて社会道義の昂揚と社会福祉に寄与することを目的としている。

### ■大阪相撲文化の維持・継承を担う光栄を感じて

東西会は現在76名。その会員資格

は、原則的に親から子へと継承される。平成4年に初代・岩吉氏、2代目・義一氏が相次いで亡くなったため、粟井齋社長が社業とともに東西会の会員も引き継いだ。

「東西会としては初の3代目。それまで、相撲とは縁が薄かった。が、祖父岩吉ら先人が守ってきた相撲文化のためならと、迷わず決めました」。

粟井社長が今でも思い出すのが初代岩吉氏のこと。商工会議所議員、大阪市議会議員などの要職も務められた、戦後大阪の特殊鋼業界では立志伝中の人物。

「96歳まで長命した、商魂とパワーみなぎる人でした。公職から退いた晩年には、朝一番から溜り席に行くんですね。それも、ちゃんとテレビに一番よく映る席に。お世話になった人たちに、『元気でやっとなぞ』とアピールしているんです」。もっとも、粟井社長も年々相撲の魅力にハマりつつあるとか。

「仕切りから立ち会いまでの集中力。1番限りの勝負で一気に発揮する真剣さがたまらんね。仕事などにもこの気迫から学ぶものがあるね」。

継承早々はなにやら落ち着かなかった茶色の陣羽織も、「最近では板に付いてきたかな。場所が近づくとソワソワしてる、と家族や会社の者にもいわれるようになった」と笑う。

### ■厳格なマナーで相撲の魅力を伝える東西会

東西会には、拍手をしたり声をかけない、という決まりがある。つまり、「ひいき」をしない。また、溜り席は飲食禁止、静かに相撲を観戦する。さらに、弓取り式まで席を立たないと、厳格な

マナーがある。

「外国人力士による取り組みの変化や人気の低迷など、角界を取り巻く現状は厳しい。東西会では、協会と意見交換会をして力士の奮起を促すとともに、溜り席に障害者を招待して、福祉面にも力を入れています」。

代々、大阪の市井で相撲を愛してきた東西会。

「次の世代に相撲の魅力を伝えられるよう、自身もっと勉強しなければ」。大相撲の長い歴史、70年以上になる東西会の歴史を感じながら考えることしきりだという。



横綱朝青龍ほか大関陣の手形が押された東西会70周年記念の掛け軸。

# 委員会報告

## 第46回運営委員会

日時：平成20年1月28日 13:00～15:30

於：グランドヒル市ヶ谷「真珠の間」

- 内容：1. 協議事項
- (1) 平成20年度事業計画と予算について
  - (2) 第47回運営委員会日程について
2. 報告事項
- (1) 委員会報告

## 第29回調査研究委員会

日時：平成19年12月5日 12:00～14:30

於：鉄鋼会館

- 内容：1. 第6回「経営環境等に関するアンケート」の設問について
2. 第44回「全特協景況アンケート」の設問について

## 第10回経済産業省との連絡会

日時：平成20年1月28日 16:00～17:30

於：グランドヒル市ヶ谷「真珠の間」

経産省：石川鉄鋼課長、松測課長補佐、野辺流通係長

- 内容：1. 平成20年度経済見通しと企業動向  
(石川課長説明)
2. 各支部の現況と市況説明

## 第16回広報委員会

日時：平成20年2月20日 12:30～14:30

於：鉄鋼会館

- 内容：1. 「はがねの日」記念切手の結果報告
2. 広報誌「すていーる」34号の作成について
3. 平成20年度事業計画と予算について

## 人材育成委員会 第4回研修制度の内容を 検討するワーキンググループ会議

日時：平成19年11月29日 12:00～14:00

於：名鉄ニューグランドホテル「花の間」

- 内容：1. 販売技士制度に何を期待するか？  
アンケート設問の内容について
2. アンケート対象者と回収方法・回答期限について

## 第20回青年部会正副部会長会議

日時：平成20年2月13日 12:00～14:00

於：鉄鋼会館

- 内容：1. 「はがねの日」対外的な事業について
2. 第10回運営委員会について
3. 平成20年度事業計画と予算について

## 人材育成委員会 特殊鋼販売加工技士検定試験委員会

日時：平成20年2月14日 11:30～13:00

於：鉄鋼会館

- 内容：1. 特殊鋼販売加工技士（実務編）試験問題選定
2. 平成20年度人材育成事業日程報告



# 事務局だより

## 1 JISハンドブック及び定期刊行物購入斡旋のお知らせ

日本規格協会発行の「JISハンドブック」及び定期刊行物の購入斡旋をひきつづき20%引きで実施中です。是非ご利用下さい。  
お問合せは、事務局までお電話下さい。(Tel: 03-3669-5803)

## 2 鉄網製共通通い箱「おかよちゃん」について(経営効率化委員会)

鉄網製(大)@10,000円(内寸 960×760×350)

鉄網製(中)@ 8,000円(内寸 760×465×400)

鉄網製(小)@ 5,000円(内寸 770×460×250)

(ご指定倉庫車上渡し、納期約10日間)

平成19年4月積以降、素材価格の高騰に伴い、会員の皆様への仕切り価格が値上がりしておりますが、市販価格よりは安価ですので是非ご利用下さい。

注文用紙は事務局にございますのでご一報ください。(Tel: 03-3669-2777)

## 3 「法律無料相談窓口」をご利用下さい。(経営効率化委員会)

飯田法律事務所と法律顧問契約を結び、会員の皆様を対象に「法律無料相談窓口」を開設しております。「何でも相談室」として会員企業の一般社員の皆様のプライベートな法律相談や助言を無料で対応させていただきます。

ご相談先: 飯田法律事務所 Tel: 03-3666-3838(窓口: 高橋氏)

ご相談の流れ: ①全特協「法律無料相談窓口」を希望とお伝え下さい。

②所属支部と会社名をお伝え下さい。

③相談内容を簡単にお伝え下さい。

④その後、弁護士の先生と直接具体的な相談をして下さい。

⑤必要なら、地方在住の弁護士さんを紹介してもらえます。

ご相談内容は守秘義務があり協会には一切報告されません。

## 編集後記

暖冬という長期予報がはずれ、日本列島が冷凍庫に入ったように連日寒い日が続いております。そんな中で、『すてぃーる』34号をお届けします。今号は、新年賀詞交換会の特集号として、経済産業省の石川鉄鋼課長をお迎えして盛会裡に挙行された本部を始め各支部の模様をお伝えしました。

また、父子三代に亘って、国技の相撲道を土俵溜まりから、厳しい目で見続けてきた粟井齋社長にご登場願って、外国人力士に席卷され、不祥事に泣かされた国技の相撲の復活を熱望してやまない粟井氏の『私の愉しみ』を熟読願います。

全特協の法人化以来、協会の重鎮として、また、ご意見番と

してご指導頂いた櫻井鋼鐵の久木田会長には、各種アンケート調査に対して、専門家の意見も聞いて、有意義な回答を引き出すよう工夫してみる必要があると『突然おじゃま』の中で示唆されています。そして、誠実と信用を第一に堅実経営を理念とされている久木田会長の経営哲学も大いに参考になります。昨今の新聞紙上を賑わせている、いい加減な経営者に是非読ませてやりたい記事です。

『はがねの日』の記念切手もお陰様で予定していた枚数を完売致しました。ご協力有難うございました。

広報委員会委員長・広報誌発行責任者／竹内誠二